

平成 27 年（2015 年）の硫黄鳥島の火山活動

気象庁地震火山部
火山監視・情報センター
沖縄気象台地震火山課

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しています。

噴火警報・予報の状況、2015 年の発表履歴

| | |
|-------------|-------------------|
| 2015 年中変更なし | 噴火予報（活火山であることに留意） |
|-------------|-------------------|

2015 年の活動概況

・噴気等表面現象の状況（図 1～4）

1 月、4 月、9 月、11 月に気象庁が実施した海上からの観測、2 月、5 月、6 月、7 月、12 月に第十一管区海上保安本部が実施した上空からの観測では、島の北側に位置する硫黄岳火口からの少量の噴気が確認されました。また、第十一管区海上保安本部が実施した 7 月の上空からの観測では中央部に位置するグスク火山火口では、噴気は確認されなかったものの、そのほかの海上からの観測や上空からの観測では従来より認められている少量の噴気が確認されました。硫黄岳火口やグスク火山火口ではその状況に特段の変化は認められません。

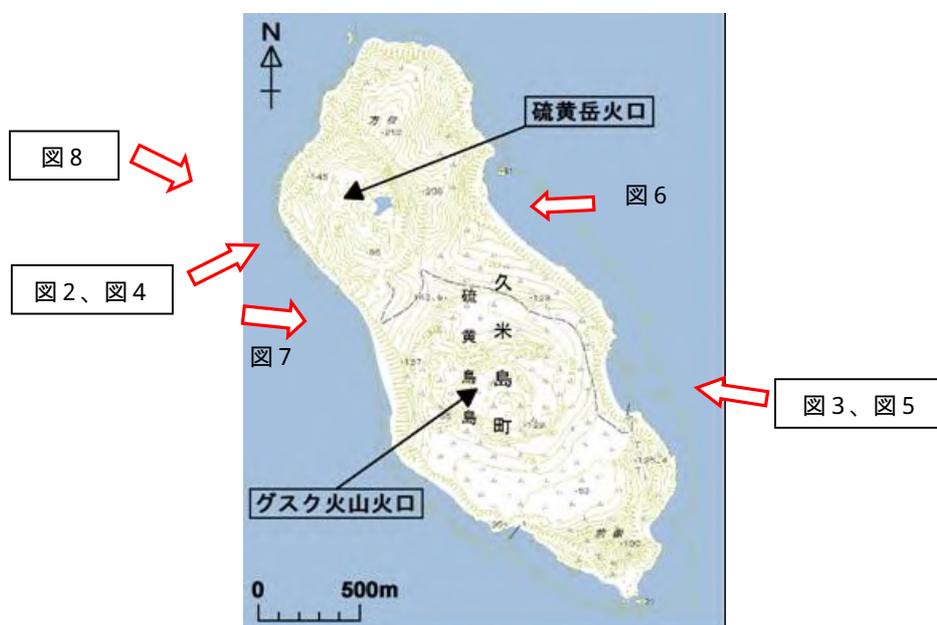


図 1 硫黄鳥島 火口の位置
矢印は図 2～図 8 の写真の撮影方向、
撮影位置を示す

この資料は気象庁ホームページ (<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。この資料は第十一管区海上保安本部のデータを利用して作成しています。

資料中の地図については、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『電子地形図（タイル）』『25000 分の 1 地形図』を使用しています（承認番号：平 26 情使、第 578 号）。また、同院発行の『25000 分の 1 地形図』の複製したものを使用しています（承認番号：平 26 情複、第 658 号）。



図 2 硫黄島 硫黄岳火口の状況
(4月26日 火口南西側海上から撮影)

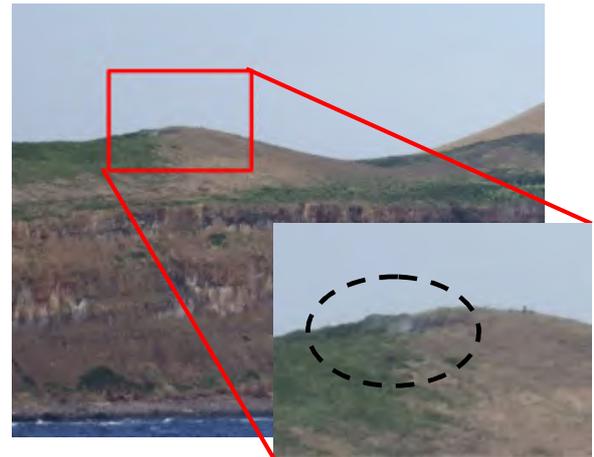


図 3 硫黄島 グスク火山火口の状況
(4月26日 南東側海上から撮影)

・図 2、図 3 の黒丸内に白色の少量の噴気が認められました。



図 4 硫黄島 硫黄岳火口の状況
(11月24日 火口南西側海上から撮影)



図 5 硫黄島 グスク火山火口の状況
(11月24日 南東側海上から撮影)

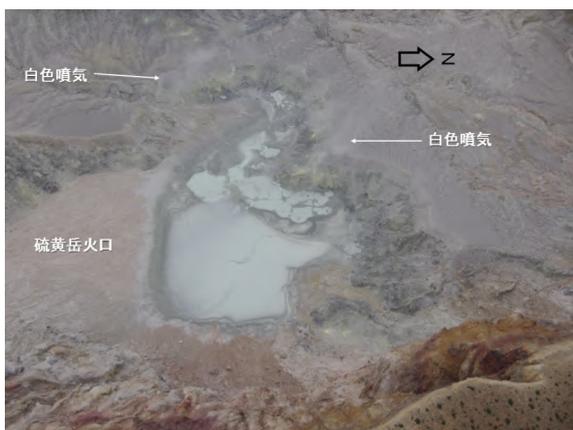


図 6 硫黄島 硫黄岳火口の状況 (12月31日 第十一管区海上保安本部提供)



図 7 硫黄島 グスク火山の北側火口壁及び火口内
東方向から撮影 (12月31日 西方向から撮影・

第十一管区海上保安本部提供)

- ・硫黄岳の噴気帯で、白色の少量の噴気が認められました。
- ・グスク火山の北側火口壁及び火口内で白色の少量の噴気が認められました。

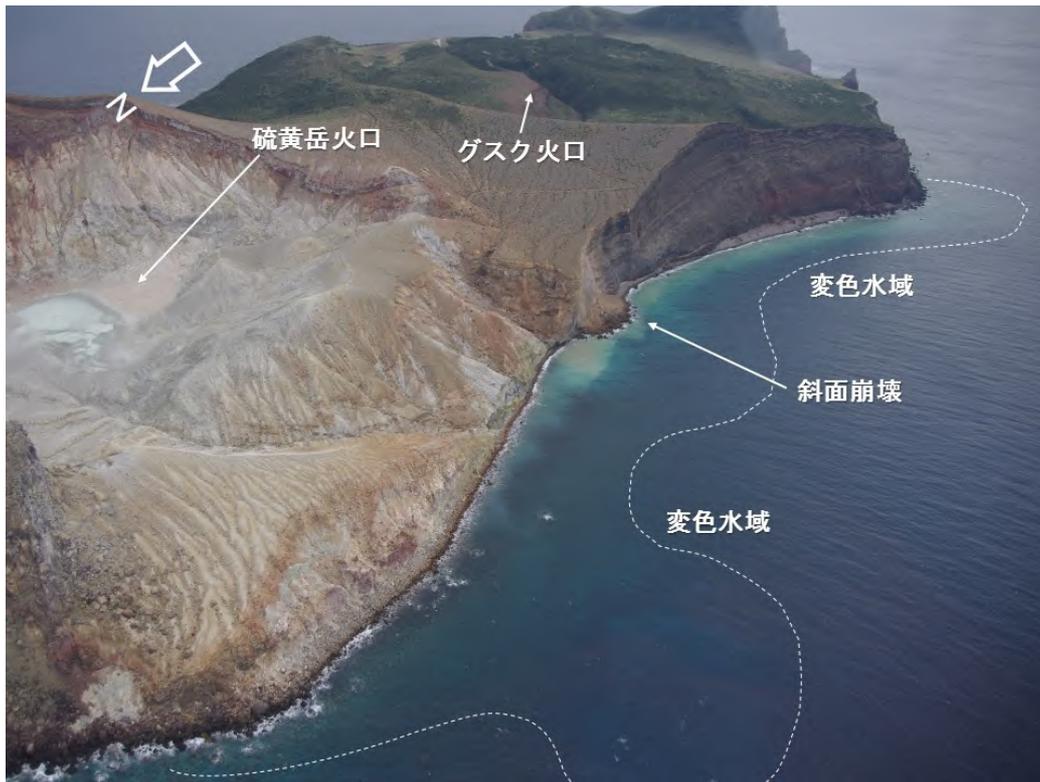


図 8 硫黄島 西側海岸線の変色水の状況 (12月31日 北西方向より撮影・

第十一管区海上保安本部提供)

- ・硫黄岳からグスク火山の西側海岸線に沿って長さ約 1400m、幅約 150～300mの淡褐色～青白色の変色水が認められました。